

七里御浜防風林 GG 作戦

2月23日（日曜日）、七里御浜国有林にて、松林を守り（グリーン）、育てる（グロー）ためにマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの苗を植える活動「GG（グリーン・グロー）作戦」が開催されました。

七里御浜国有林は、三重県熊野市から御浜町、紀宝町に位置する、熊野灘に面した延長約 25km の海岸林です。松林の中に散策路が整備され、地域の方々にも親しまれている林ですが、松食い虫被害や塩害等により松枯れが進み、防風機能が低下しつつあります。

七里御浜松林を守る協議会が海岸林を守ることを目的に、平成5年度から植樹活動を開始し、今回で18回目の活動となりました。

当日は晴天に恵まれ、公募により、100名を超える地域の方々が集まりました。御浜町と紀宝町では、それぞれ100本ずつ、合計200本のクロマツ苗を植樹し、ゴミ拾いも行いました。地元の子どもたちも大勢参加し、スコップを使って一生懸命穴を掘り、丁寧に苗を植えていました。熊野市では、ゴミ拾いなど、林内の清掃活動を行いました。

地元紀宝町の小学校では、3年前から児童たちがクロマツ苗の育成に取り組んでいます。取り組みがスタートした時に4年生だった児童たちも6年生になり、自分たちで種まきをし、育てたクロマツ苗も大きくまりました。小学校では、授業の時間を利用して、この苗を海岸林へ植えることにしています。

このように、地域のみなさんの地道な活動によって、七里御浜の松林が守り、育てられています。



一生懸命穴を掘ります



丁寧に土をかけます



紀宝町の参加者のみなさんです